

みんなで作る みんなをつなぐ

広報 ひろさき

2023
2/1
No.407

特集

感動の裏側

新春特別企画 正解発表
市民税県民税の申告
会計年度任用職員を募集



今号の表紙

名画との出会い

市立博物館で絶賛開催中の特別企画展2「サルバドール・ダリ」。訪れた人は、彼の作品や名言など一つ一つを真剣な眼差しでじっと見つめ、その世界観を味わっていました。



「広報ひろさき」録音版の配布を希望する人は障がい福祉課（☎ 40-7036）まで。



「広報ひろさき」をアプリで読めます！
「マチイロ」で検索（iOS・Android対応）



令和4年度特別企画展2「サルバドール・ダリ」
 3月26日（日）までの午前9時30分～午後4時30分
 ※期間中は休みなし。



特集

感動の裏側

地域の歴史や美術工芸を紹介する企画展や、国内外のアーティストが制作した芸術作品を展示する特別企画展を開催し、訪れる人に感動を与え続けている市立博物館。皆さんも一度は足を運んだことがあるのではないのでしょうか。今回は、市立博物館で働く学芸員の仕事にスポットを当て、展示会が出来上がっていく過程を追いながら「感動の舞台裏」に迫ります。



■問い合わせ先
 市立博物館
 (☎ 35-0700)

市立博物館の概要

Introduction

開館 1977（昭和52）年4月20日
 建設費 5億8,882万2,000円
 敷地面積 4,879.38㎡
 建築面積 1,511.34㎡
 収蔵資料 約2万点（2022年3月末現在）



▲着工前（白線が建物配置、右は廃止された市営野球場）

市立博物館は、フランスの建築家ル・コルビュジェに師事した日本近代建築の巨匠・前川國男が設計しました。

外壁の打ち込みタイルや、内壁のコンクリートの研（はつ）り仕上げ、コンクリート打ちっぱなしの丸型の柱など、前川建築の特徴が随所に見られるとともに、作品や空間を美しく見せることへの信念が感じられる建築となっています。

市立博物館では、年間4～5本の企画展や特別企画展を開催しています。毎年好評の企画展「弘前ねぶた展」や、過去には浮世絵や日本画などをテーマにした特別企画展を開催したこともあります。



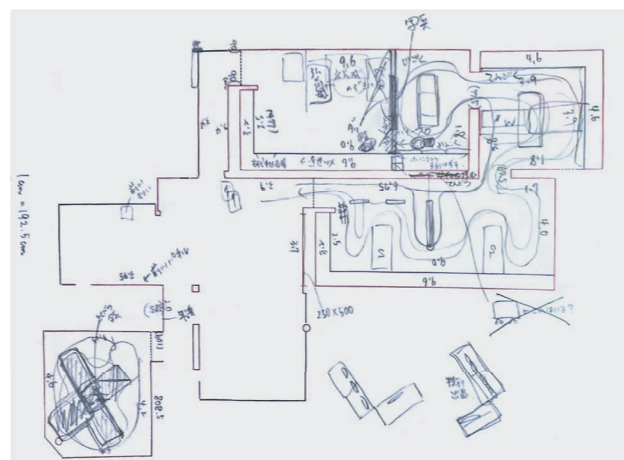
▲前川レッドの色彩が印象的なシャッター（通常は展示品保護のため閉鎖）

展覧会ができるまで

Making of the Exhibition

特別企画展の展示資料は、市立博物館の学芸員と企画協力会社が作品一つ一つの大きさや色合いなどを考慮し、全体のバランスが取れるよう考え抜いて配置しています。同じ題材の展示会でも、美術館や博物館ごとに面積や展示ケースが異なるため、毎回工夫を凝らしています。

一方、企画展は、学芸員と博物館の職員全員で力を合わせて作り上げます。



▲展示マップ（設計図）のラフ案。設計図完成までに何度もラフ案を作って方向性を固める。



▲関東方面から届いたダリの作品を館内に搬入。作品や展示ケースなどを設計図に従って移動する。



▲専門スタッフが作品の位置間隔や水平角度を細かく確認しながら手際よく展示作業を進める。

学芸員という職業

Occupation as Curators

もともと大学で（はるか昔のことですが）文化財に関係する学科を専攻していたのですが、在学時は学芸員に必要な単位を取り切らずに卒業しました。市役所に勤務するようになってから学芸員資格を取ってみようと思ひ立ち、通信制で足りない単位をそろえ、学芸員として勤務するようになりました。

学芸員の魅力、醍醐味は、なんと言っても「ホンモノ」の資料・作品を目の前にできることです。この世に一つしかない大切なものですから、それだけに取り扱うときは緊張しますが、本物を見ることでしか味わえないことや、本物を見て初めて気付かされることもあります。それが大きな魅力です。

貴重な資料を
後世に
つなぎたい。

市立博物館で働く学芸員に、どのような思いで仕事と向き合っているのか、話を聞きました。



学芸員として本物の資料に触れ合えるのは、博物館に勤務している限られた期間だけですが、資料はできるだけその状態を変えずに、後世の人たちへ繋いでいくべきものです。

そんな重要な仕事に携わることができる学芸員として、やりがいを感じています。皆さんも博物館にお越しの際は、展示された目の前の作品一つ一つを楽しんでいただくと同時に、これらの作品が未来へ引き継がれていくことを心の片隅で感じていただけたら、嬉しいですね。

今後、もっとAI技術が発達したら、外国の観光客がふらっと立ち寄っても、展示内容を理解して、満足してくれるような博物館にできたらいいな、と夢みたくらいのことを時々思うことがあります。「オー！Tsugaru-nuri、ソー・クール！」みたいな（笑）…もしかしてそんな時代が来たら、すごく楽しみです！

幼い頃から両親に連れられて博物館や遺跡を訪れることが多く、小学生の頃はインディ・ジョーンズのような考古学者になるのが夢でした。でも、大学は全く異分野の情報システム課程に進学しました。教養の科目で何気なく履修した日本史の授業で先生に声を掛けられたことがきっかけで、3年生から転課程し、日本史の世界へ。文献から当時の人の考えを読み解く面白さや、新しい発見をした時の快感にハマり、博士課程まで学びました。

歴史研究に携わる仕事は、高校・大学の教員や、博物館、文書館、研究所などの施設に限られる狭き門なのですが、たまたま募集のあった岩手県花巻市で学芸員を6年間勤めた後、地元弘前にUターンして現在の職に就くことができました。

市民に
知的な時を
贈りたい。



小田桐 陸弥
主査兼学芸員

学芸員の仕事は、展示というスタイルで皆さんに調査研究の成果を知ってもらえる機会があることが一番の楽しみだと思っています。地元でなかなか見られない著名人の名作を集めた展覧会を皆さんに見てもらうことももちろん大切なことですが、私の専門が近世災害史なので、いつか災害に関連した展示をする機会が持てれば…という野望を持っています。

博物館は特別な場所ではなく、芸術や文化に身近に出会える施設です。時間をかけてじっくり見学してお気に入りの資料を見つけたり、ちょっとだけ時間ができた日にお気に入りの1点を愛でたり、建築としての博物館を楽しんだり…、来館の際は、ぜひそんな知的な時を過ごしてもらえたら幸いです。



学芸員の職務

Works of Curators

学芸員の仕事は展覧会の設計や展示作業のみにとどまりません。

日々の大切な仕事として、収蔵資料の保存・管理作業や、他施設への貸し出しなどの業務も行っています。

保存・管理

現代まで残る貴重な歴史資料を、この先の未来につなぐために、日々、保存・管理作業を入念に行っています。



▲収蔵庫内部（非公開、本特集のために特別に撮影したもの）

収蔵品の貸し出し

収蔵している資料を他の博物館や美術館へ貸し出しして、より多くの人に感動を与えています。



▲資料1点1点の状態確認や採寸などを、学芸員が立ち会って行う

終わりに

今回は、学芸員の仕事にスポットを当てて、展覧会の裏側を紹介しました。

展示資料を観覧者に「魅せる」立役者の存在を意識しながら、博物館に足を運んでみませんか。普段とは少し違った視点で作品を鑑賞できるかもしれません。



新春特別企画

りんごのスケルトンで福袋を当てよう!

正解発表



答え
りんご娘

昨年、新メンバーで再出発した「りんご娘」が答えでした! 今後の活躍も目が離せないね♡



▲(左から) スターキングデリシャスさん、金星さん、はつ恋ぐりんさん、ピンクレディさん

① 解答欄

A large crossword puzzle grid with various words filled in. The words are related to the 'Ringo no Onna' group and other local information. Some words are highlighted in yellow.

② 質問 残ったりんごの名前のメンバー4人のアイドルグループは?

1 ノ 2 コ 3 ツ 4 タ 5 リ 6 ン 7 ゴ 8 ノ 9 ナ 10 マ 11 エ 12 ノ 13 メ 14 ン 15 バ 16 ー
17 ヨ 18 ニ 19 ノ 20 ア 21 イ 22 ド 23 ル 24 グ 25 ル 26 ー 27 プ 28 ハ 29 ?

【残ったりんご】

- キンセイ (金星)
- ピンクレディ
- ハツコイグリン (はつ恋ぐりん)
- スターキングデリシャス



新型コロナウイルスワクチンのお知らせ (1月16日時点)

インフルエンザワクチンとの同時接種

1月2日～8日の青森県感染症発生動向調査によると、季節性インフルエンザの県全体の定点当たり報告数が3.27(定点数=64カ所、報告数=209人)となり、流行開始の目安としている1.00を上回り、2019(令和元)年10月以来、3年ぶりに流行入りしています。

国の方針により、新型コロナウイルスワクチンとインフルエンザワクチンは同時接種が可能ですので、早期の接種をご検討ください。

なお、同時接種への対応状況は医療機関によって異なりますので、接種を希望する場合は、各医療機関へ事前にお問い合わせください。



モデルナ社オミクロン株対応2価ワクチンの接種

現在、予約を受付中です。接種希望者は手元に接種券を用意の上、予約をお願いします。なお、オミクロン株対応2価ワクチンの接種は1人1回です。すでにファイザー社2価ワクチン、モデルナ社2価ワクチンまたは武田社ワクチン(ノバボックス)(※)を接種済の方は接種できません。(※)武田社ワクチン(ノバボックス)は2022(令和4)年11月8日以降に、3～5回目として接種した人。

接種日	予約受付期間
2月16日(木)	2月10日(金)まで

▼申し込み方法 弘前市新型コロナウイルスワクチン接種コールセンター(☎0120-567-745)に氏名・生年月日・10桁の接種券番号・連絡先・前回(2～4回目)の接種日とワクチンの種類を伝えて予約を。

▼接種できる人 12歳以上で、2～4回目の接種から3カ月経過した人(2～4回目接種で用いたワクチンの種類にかかわらず接種が可能)

▼接種場所 鳴海病院(品川町)

■問い合わせ先 接種手続きに関すること…弘前市新型コロナウイルスワクチン接種コールセンター(☎0120-567-745、月～金曜日の午前9時～午後8時、日曜日・祝日の午前9時～午後5時、土曜日は休み)、その他の相談…新型コロナウイルスワクチン接種対策室(☎38-3190)

立候補予定者は参加を

弘前市議会議員一般選挙の立候補予定者説明会

4月23日執行の弘前市議会議員一般選挙への立候補を予定している人を対象に、事前説明会を開催します。

▼とき 2月27日(月)、午後2時から

▼ところ 中央公民館相馬館長慶閣(五所字野沢、相馬庁舎向かい) 多目的研修集会室

■問い合わせ先 選挙管理委員会事務局(☎35-1129)

意見を寄せてください

弘前市中心拠点地区都市再生整備計画の事後評価原案に対する意見を募集

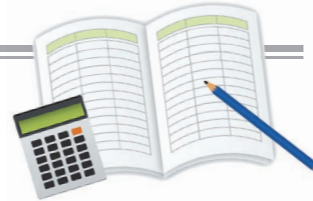


平成27年度から令和2年度に国の交付金を活用して「弘前れんが倉庫美術館」などの整備を行った「弘前市中心拠点地区都市再生整備計画」について、事業の効果などを検証・確認する事後評価の原案を公表し、市民の皆さんからの意見を募集します。詳細は市ホームページでご確認ください。

▼閲覧期間 2月1日(水)～28日(火)
▼閲覧方法 市ホームページもしくは都市計画課窓口での閲覧
▼提出期限 2月28日(火)
■問い合わせ・提出先 都市計画課(市役所3階、☎40-0735)

税の申告を
忘れずに

市民税県民税の申告



【自書による郵送申告にご協力を】

令和5年度市民税県民税の申告会場を次のとおり開設します。感染症対策のため、できるだけ申告書類の郵送での提出にご協力をお願いします。

申告期限は3月15日(水)です。

詳しくは、広報ひろさき1月15日号と同時配布した「令和5年度市民税県民税申告のお知らせ」(市ホームページにも掲載しています)でご確認ください。

▼来場して申告する際の注意

○住んでいる地区の日程を確認の上、指定された日程に指定された会場へお越しください。

※支所・出張所地区や城東地区の申告会場へ地区外の人々が来場することは、密を招きますのでご遠慮ください。

○ソーシャルディスタンス(社会的距離)確保のため、例年に比べて待合席数を少なくしています。混雑状況によって座れない場合があります。

○体調不良の場合は来場を控えてください。

○会場入り口や受付での手指の消毒、マスクの着用をお願いします。筆記用具は可能な限り持参を。

○申告者本人のみでお越しください。補助者が必要な場合は、最低限の人数でご来場ください。

○営業等・農業や不動産の収支内訳、医療費控除の明細書など、自分で作成すべき書類はあらかじめ作成した上で来場を。作成していない場合、申告者自身で作成してからの受け付けとなります。

で、事前作成にご協力をお願いします。

■**問い合わせ先** 市民税課市民税第二・第三係(市役所2階、☎40-7025、40-7026)

【弘前税務署からのお知らせ】

申告書作成会場では、原則、自身のスマホから自分で申告書等を作成してもらいます。

▼**とき** 2月14日(火)～3月15日(水)の平日、午前9時～午後4時

▼**ところ** 市立観光館(下白銀町、追手門広場内)1階多目的ホール

※会場の駐車場は有料。駐車台数に限りがあるため、来場は公共交通機関の利用を/入場には入場整理券が必要。会場での当日配付のほかLINEによる事前発行が可能。

■**問い合わせ先** 弘前税務署個人課税第一部門(本町、☎32-0331、自動音声に従って「2」を選択)

【税務署へ確定申告する人へ】

税務署に提出された確定申告書は各市町村にデータ送信され、市民税県民税等の算定資料にもなります。そのため所得税と市民税県民税とで取り扱いが異なる事項を、確定申告書第二表「住民税に関する事項」欄に記載することになっています。記載を誤ると市民税県民税が正しく計算されないなど、市町村が行う住民サービスに影響が出る場合もあります。確定申告の手引き等を確認し、正しく記載してください。

【申告会場開設スケジュール】受け付けは平日のみ。

地区名	受付期間	受付会場	受付時間
全地区(営業等・農業、不動産収入の申告がない人限定)	2月10日(金)～15日(水)	市役所前川新館3階 申告会場	午前8時30分～午後4時
本庁地区	2月16日(木)～3月15日(水)		
相馬総合支所地区	2月2日(木)～6日(月)	相馬総合支所1階多目的室	午前9時～午後3時
岩木総合支所地区	2月21日(火)～3月10日(金)	岩木総合支所1階多目的室	
船沢地区	1月31日(火)・2月1日(水)	船沢公民館	午前9時30分～午後3時
城東地区	2月1日(水)・2日(木)	総合学習センター	
石川地区	2月7日(火)・8日(水)	石川公民館	
裾野地区	2月8日(水)	裾野地区体育文化交流センター	

※高杉地区、新和地区、東目屋地区は1月に終了したため、本庁地区会場をご利用ください。

窓口または郵送で
のみ受け付け

令和5年4月 認定こども園・保育所 利用希望者の追加受け付け



市内の保育施設のうち、令和5年4月からの認定こども園・保育所(2号・3号認定)の利用申し込みは2月28日に受け付けを終了しましたが、定員に空きが生じる施設について追加の申し込み受け付けを行います。

詳しくは市ホームページをご覧ください。

▼受付期間

○**窓口**…2月1日(水)～15日(水)の平日、午前8時30分～午後5時

○**郵送**…2月10日(金・必着)までにこども家庭課保育係へ

▼**受付場所** こども家庭課保育係(市役所1階)、

岩木総合支所民生課(岩木庁舎内)、相馬総合支所民生課(相馬庁舎内) ※希望する施設に申し込みをしても、定員に空きがない場合は4月からの利用はできません/書類に不備がある場合は受け付けできない場合がありますので、早めの施設見学と申し込みを。

なお、認定こども園・幼稚園の教育利用(1号認定)、認可外保育施設、企業主導型保育施設については、希望する施設への申し込みとなりますので、直接施設にお問い合わせください。

■**問い合わせ・申込先** こども家庭課保育係(☎036-8551、上白銀町1の1、☎35-1131)

対象者は
忘れずに申請を

「高額介護合算療養費の支給申請のお知らせ」の 送付について

後期高齢者医療制度の被保険者で、医療費と介護サービス費の自己負担額の1年分(令和3年8月1日～令和4年7月31日)の合算額が限度額(右表)を超えた場合、超えた額が支給されます(500円以下は対象外)。被保険者が複数いる世帯は、世帯で合算して支給額を計算します。

支給要件に該当すると思われる世帯には、2月下旬(予定)に青森県後期高齢者医療広域連合から支給申請のお知らせを送付しますので、届いた人は申請してください。

対象期間中に加入した人や県外から転入した被保険者がいる世帯など、支給対象となる世帯でも支給申請のお知らせが届かない場合がありますので、対象と思われる人はお問い合わせください。

▼**申請に必要なもの** 支給申請書/支給申請のお知らせ/後期高齢者医療被保険者証/介護保険被保険者証/個人番号(マイナンバー)がわかるもの(通知カードまたはマイナンバーカードなど)/本人確認書類(官公庁発行・発給の顔写真付き身分証明書)/印鑑(認印、申請者と受領者が異なる場合は両者の押印が必要)/通帳(コピーでも可)など口座情報がわかるもの



▼自己負担限度額

所得区分	所得区分の内容	限度額
現役並み所得Ⅲ	課税所得690万円以上の 人	212万円
現役並み所得Ⅱ	課税所得380万円以上 690万円未満の人	141万円
現役並み所得Ⅰ	課税所得145万円以上 380万円未満の人	67万円
一般	住民税課税世帯の人(他の所得区分に当てはまらない人)	56万円
低所得Ⅱ	世帯員全員が住民税非課税の人	31万円
低所得Ⅰ	世帯員全員が住民税非課税の人のうち、世帯員全員の各所得金額が0円の人(公的年金の場合は収入が年額80万円以下)	19万円

※自己負担額は、支払った額から高額療養費や高額介護(予防)サービス費を除いた額です。

■**問い合わせ・申請先** 国保年金課後期高齢者医療係(市役所1階、☎40-7046)

皆さんの声を
市政に反映

弘前市上下水道事業経営審議会の委員を募集

上下水道事業の経営や計画に関する重要な施策等に関して、市民の皆さんの意見を反映させるため、弘前市上下水道事業経営審議会の委員を募集します。

▼**応募資格** 市内に在住する満18歳以上の人（市議会議員、市職員（退職者を含む）、市の他の附属機関委員等を除く）

▼**募集人員** 2人以内

▼**募集期間** 2月1日（水）～28日（火・必着）

▼**任期** 委嘱の日から2年間

▼**会議の開催** 会議は年2～3回程度で、平日の日中に開催予定

▼**報酬など** 会議1回の出席につき報酬1万円と交通費を支給

▼**応募方法** 次の事項を記入した応募用紙を、郵送、持参、ファクスまたはEメールで提出してください。

①住所・氏名（ふりがな）・生年月日・性別・職業・電話番号・Eメールアドレス

②応募動機、抱負、自己PR、上下水道事業に対する意見（400字程度）

※応募用紙の様式は自由ですが、参考様式を市ホームページに掲載しているほか、上下水道部総務課（岩木庁舎2階）で配布します。なお、応募用紙は返却しません／持参する場合の受け付けは、平日の午前8時30分～午後5時。

▼**選考方法など** 応募書類の選考で決定後、結果は応募者全員に書面で通知します。

※選任された人の氏名は、委員名簿や会議録等に記載するほか、市ホームページなどで公表します。

■**問い合わせ・提出先** 上下水道部総務課総務契約係（〒036-1393、賀田1丁目1の1、岩木庁舎2階、☎55-9660、ファクス55-9680、Eメール suisoumu@city.hirosaki.lg.jp）

あなたの力を
市政のために

会計年度任用職員を募集

事務員

津軽広域エリアの観光資源調査等に従事する会計年度任用職員を募集します。

▼**勤務場所** 国際広域観光課（市役所5階）およびClanPEONY（クランピオニー）津軽事務局（市立観光館2階）

▼**勤務時間** 午前9時～午後3時45分のうち実働6時間（週30時間）

▼**応募資格** ワードやエクセルの基本的なパソコン操作ができ、普通自動車運転免許を取得している人。業務の経験は問いませんが、津軽広域エリアの観光資源に関する知識や地域とのコミュニケーション能力などが必要な仕事であり、また、積極的に知識を取得しようとする姿勢が求められます。旅行関係の資格を持つ人や日常会話程度の英語が話せる人などを優先します。

■**問い合わせ（業務内容）・申込先** 国際広域観光課（〒036-8551、上白銀町1の1、☎40-7017）

作業員

岩木庁舎等の環境整備作業に従事する会計年度任用職員を募集します。

▼**勤務場所** 岩木庁舎等

▼**勤務時間** 午前7時30分～午後2時15分のうち実働6時間（週30時間）

▼**応募資格** 肩かけ・自走式草刈機を用いた草刈り作業、小型除雪機を用いた除雪作業と低木の雪囲い作業の経験があり、普通自動車運転免許を取得している人。

■**問い合わせ（業務内容）・申込先** 岩木総合支所総務課（〒036-1393、賀田1丁目1の1、☎82-1621）

～**共通事項**～

▼**募集人員** 各1人

▼**雇用期間** 4月1日～令和6年3月31日（更新の可能性あり）

▼**休日** 土・日曜日、祝日、年末年始

▼**申し込み方法** 2月10日（金・必着）までに、市販の履歴書に必要事項を記入し、顔写真を貼り付けの上、郵送または持参で申込先へ。

※募集要項は申込先で配布しているほか、市ホームページにも掲載しています。

▼**その他** 令和5年度の予算成立状況によって、募集中止や採用取りやめの場合があります。

■**問い合わせ先（雇用条件）** 人事課人事研修係（☎35-1119）

市ホームページや広報ひろさきに広告を掲載しませんか

【市ホームページ バナー広告】

市のホームページに掲載するバナー広告を募集しています。

▼**掲載位置** 各ページの最下段

▼**掲載料** トップページ

=1カ月当たり1枠1万円

（1年間継続の申し込みで1枠10万円）／トップページ以外=1カ月当たり1枠3,000円（1年間継続の申し込みで1枠3万円）

▼**掲載期間** 広告の掲載期間は1カ月単位。また、連続して掲載できる期間は最大12カ月です。

▼**バナーの規格** 大きさ…縦50ピクセル、横170ピクセル／形式…GIF、JPEG、PNG／容量…10キロバイト以下

▼**申込期限** 掲載開始月の前月の10日

※掲載を希望する人は必ず市ホームページをご確認ください。



【広報ひろさき 有料広告】

広報ひろさきに掲載する有料広告を募集しています。掲載できる広告は、広報誌の性格上、その品位を妨げず、かつ市民に不利益を与えない中立性のあるものなど、いくつかの条件があります。詳しくは市ホームページでご確認ください。

▼**掲載位置（1日号、15日号共通）** 最終ページ全面、半面または最終ページおよびお知らせページの最下段

▼**掲載枠・掲載料** 下表のとおり

▼**申込期限** 掲載を希望する号のおおむね40日前

※掲載を希望する人は必ず市ホームページをご確認ください。

■**問い合わせ・申込先** 広聴広報課広聴広報係（市役所2階、☎35-1194）

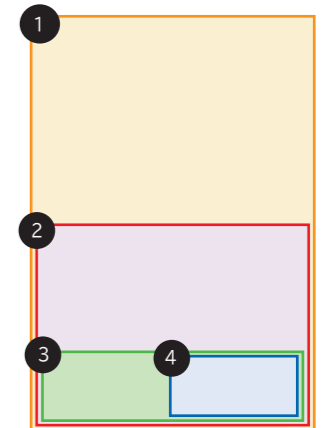


広報ひろさき掲載枠・掲載料

掲載枠	規格（縦×横）	1回の掲載料			
		お知らせページ		最終ページ	
①全 枠	252mm×170mm以内	—	—	1日号	30万円
		—	—	15日号	20万円
②2分の1枠	126mm×170mm以内	—	—	1日号	15万円
		—	—	15日号	10万円
③5分の1枠	45mm×170mm以内	1日号	6万円	1日号	9万円
		15日号	4万円	15日号	6万円
④10分の1枠	45mm×85mm以内	1日号	3万円	—	—
		15日号	2万円	—	—

※1日号は全ページカラー、15日号は全ページ白黒（消費税および地方消費税を含む）。

掲載枠イメージ



人口減少対策に取り組む企業の有料広告掲載料を割引します

市では、人口減少対策に積極的に

取り組む企業を、「弘前市移住応援企業」、「弘前市子育て応援企業」、「ひろさき健やか企業」、「弘前市女性活躍推進企業」に認定しています。認定企業が以下の広告媒体に有料広告を掲載する際、掲載料を割引します。

▼**割引を実施する広告媒体** 広報ひろさき、市職員および市立小・中学校職員グループウェア画面広告、二十歳の祭典プログラム、本庁舎車両広告
※掲載料や割引率などは市ホームページで確認を。



■問い合わせ先

人口減少対策に係る企業認定制度について		
移住応援企業	企画課	☎40-7121
子育て応援企業	こども家庭課	☎40-7039
健やか企業	健康増進課	☎37-3750
女性活躍推進企業	企画課	☎26-6349
有料広告掲載料について		
広報ひろさき	広聴広報課	☎35-1194
市職員および小・中学校職員グループウェア画面広告	情報システム課	☎35-1133
二十歳の祭典プログラム	生涯学習課	☎82-1641
本庁舎車両広告	管財課	☎35-1120



防災行政無線の試験放送を行います

地震や武力攻撃などの発生に備え、情報伝達試験を全国一斉に行います。当市では、市内各所に設置している防災行政無線から試験放送が流れます。

※今年度は計4回の試験を予定しており、今回が4回目です。

▼試験日時 2月15日(水)、午前11時ごろ

※気象状況などによって中止することがあります。

なお、防災行政無線の内容を確認したい場合は、テレホンサービス(☎40-7110、サービス料は無料ですが通話料が発生します)を活用してください。また、防災行政無線アプリでは配信されません。

■問い合わせ先 防災課(☎40-7100)

ヒロロ3階総合行政窓口の臨時休業

ヒロロ3階総合行政窓口は、システムメンテナンスに伴い、臨時休業します。ご不便をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いします。



▼とき 2月18日(土)・19日(日)、午前8時30分～午後5時

■問い合わせ先 ヒロロ3階総合行政窓口(駅前町、☎31-0260)

弘前城石垣修理

第21回 ～令和4年度の工事を振り返る～

令和3年6月に工事を開始した「弘前城跡本丸石垣東面(北側)積直し工事」は、冬季休工を経て令和4年4月、16段中の上から12段目の石垣積み直し作業から再開しました。

築石(つきいし)一つを積み直すためには、周囲の築石も一度仮置きした上で、石の向きや角度、石同士が接する部分を調整する必要があることから、一つの石を仕上げるのに数石の移動が伴います。このため、一段積み直すのには15～20日程度の期間を必要とし、現在までに約910石の積み直しが完了しました。この範囲は、元禄期(1694～1699年)の石垣とそれらを大正4年(1915年)に積み直した石垣で構成されており、粗く方形に加工した石を横目地が通るように積む「割石の布積」といわれる積み方となっています(※1)。



▲「割石の布積」で積まれた元禄期の石垣(※1)

今年度からは、石垣背面で築石と裏込を支える土の敷均し(しきならし)、締固め(しめかため)を行いました。石垣背面に元々あった土は、平成27年の土質試験等の結果、水分を含むと変形しやすい性質と判明しており、石垣孕み(はらみ)出しの一因と考えられることから、今回の積み直しでは、解体時に取り除いた土に変形しないよう改良材(生石灰)を加え、補った上で再度石垣背面に埋め戻しています(※2)。

また、8月には大雨が続いたことで、石垣背面に新たな湧き水地点が複数発生しました。この際、過去の調査で使用していた観測井戸でも地下水位の上昇が確認されており、過去の記録を大幅に超える総降雨量が影響したものと考えられます。これらの湧き水は、天候回復後には見られなくなったものの、将来的に今回以上の大雨が発生する可能性があることから、地山からの湧き水を裏込へ排水できるよう、追加の対策を講じました(※3)。

新たな湧き水は、地山が見えている今のタイミングでなければ確認できなかったため、今後の石垣を左右する大きな発見となりました。



▲石垣一段の仕上がり状況(※2)



▲湧き水対策設置状況(暗渠〈あんきょ〉排水)(※3)

令和5年度からは、いよいよ重要文化財・弘前城天守が載る南側工区の積み直しに着手します。南側工区は、北側工区と築石の積み方が異なるほか、天守台部分の高さ修正が必要となるなど、より難しい工事になることから、引き続き慎重かつ丁寧な工事を行います。

弘前城本丸石垣修理事業の詳細 <http://www.city.hirosaki.aomori.jp/ishigaki/index.html>

弘前城跡の文化財修理情報『弘前城かわら版』 <http://www.city.hirosaki.aomori.jp/jubun/2022-0331-1107-48.html>

■問い合わせ先 公園緑地課弘前城整備活用推進室(弘前市緑の相談所内、☎33-8739)

連載 むっちゃんの 教えて文化財!

■問い合わせ先 文化財課 (☎82-1642)

第9回

日本最大級の農家住宅 旧石戸谷家住宅

最近新たに指定された文化財や、話題になっている文化財の魅力を毎月お伝えします!

案内人・むっちゃん

文化財行政に携わって12年!学芸員資格を持つスペシャリスト(?)職員。最近お香を紹介する動画にハマリ中。ああ、癒された〜!

旧石戸谷家はかつて「菴中(あまなか)の大家」と呼ばれた津軽地方を代表する豪農石戸谷家の住宅跡。



江戸時代の末頃に建てられたと考えられており、大きさは現存する農家建築では日本最大級とされています。



建物の梁や柱などはとても立派!当時の石戸谷家の暮らしぶりがうかがえます



元々は浜の町にありましたが、国指定史跡・津軽氏城跡である堀越城跡の隣に移築復元され、現在はガイダンス施設として一般公開されています。



堀越城跡と併せてぜひご覧ください



次回の「むっちゃん」は特別版!?美しく生まれ変わった弘前城三の丸追手門・二の丸南門を紹介します。

広報ひろさきに掲載した
各種催しについて

広報ひろさきに掲載した各種催しや教室などは、新型コロナウイルス感染症の予防と拡大防止の観点から、中止や内容変更となる場合がありますので、ご了承ください。詳しくは市ホームページまたは各問い合わせ先で確認を。

催しなどに参加する際は、マスクの着用など、感染症対策にご協力をお願いします。

イベント

弘前地区小・中学校美術展

弘前地区の小・中学生が図画工作・美術の授業で作った作品を展示します。



素敵な作品から子どもたちの生き生きとした日常の様子がうかがえます。どうぞご覧ください。

【美術展 (A 会場)】

▼とき 2月4日(土)、正午～午後5時 / 2月5日(日)、午前9時～午後5時

▼ところ ヒロロ(駅前町)4階市民文化交流館ホール

【美術展 (B 会場)】

▼とき 2月4日(土)～6日(月)の午前9時～午後5時

▼ところ 弘前れんが倉庫美術館(吉野町)2階市民ギ

ラリー
～共通事項～

▼内容 児童生徒の描画、版画など

▼入場料 無料(れんが倉庫美術館は市民ギャラリー内のみ無料で入場可)

☎ 学校指導課 (☎ 82-1644)

観光館 POP-UP STORE
vol.3「津軽ひろさき彩いろ
展～津軽の焼き物～」

津軽の陶芸について、昔ながらの伝統作品や現代流にアレンジした新しいものなど、津軽らしい作品の数々を展示・販売します。お気に入りの一品をぜひ見つけてください。



▼とき 2月4日(土)～19日(日)の午前10時～午後5時

▼ところ 市立観光館(下白銀町)2階民芸品展示スペース

▼出展者 四ツ屋窯、ぱんりゅう窯(りんごワーク研究所)、津軽千代造窯、ひろの窯、高野陶房(順不同)

▼出展者 四ツ屋窯、ぱんりゅう窯(りんごワーク研究所)、津軽千代造窯、ひろの窯、高野陶房(順不同)

☎ 市立観光館 (☎ 37-5501)

弘前らん展

3年ぶりの開催です。カトレア・デンドロビウム・胡蝶蘭などの洋蘭・セッコク、合わせて約200株を展示します。



▼とき 2月10日(金)～12日(日)の午前10時～午後4時

▼ところ さくら野百貨店弘前店(城東北3丁目)4階文化ホール

▼入場料 無料

☎ 弘前城愛蘭会(対馬さん、☎ 27-5442)

りんご公園
ウィンターフェスティバル

▼とき 2月11日(土・祝)・12日(日)・18日(土)・19日(日)の午前10時～午後3時
※イベントごとに開催時間が異なります。

▼ところ りんご公園(清水富田字寺沢)

▼内容 雪中りんご探しゲーム、冬のりんご畑クイズラリーなど



☎ りんご公園 (☎ 36-7439)

鳴海要記念陶房館の催し

【つまみ細工でコサージュをつくろう】

▼とき 2月11日(土・祝)・12日(日)、午後1時～3時

▼内容 着物地で作るアネモネブローチづくり

▼講師 NATSUKO MIYA KOSHI さん

▼定員 各日10人

▼体験料 3,550円(ケーキセット付き)

※事前の予約が必要。

【イラストワークショップ】

2月のテーマは「立ち雛(びな)」です。

▼とき 2月11日(土・祝)・25日(土)の午後1時～3時

▼講師 ささやすゆきさん(絵本作家)

▼体験料 1,800円(飲み物付き)

▼持ち物 使用したい画材

※事前の予約が必要。

【ござん刺し体験と小物販売】

▼とき 2月12日(日)・26日(日)、午前10時～午後3時

※体験受け付けは午後2時30分まで。

郷土文学館スポット企画展

現在活躍中の作家展

古川智映子、三浦雅士ら、現在活躍中の文筆家の著作などを紹介します。

▼とき 2月16日(木)～4月13日(木)の午前9時～午後5時

※入館は午後4時30分まで。

▼ところ 郷土文学館(下白銀町)

▼観覧料 高校生以上=100円
小・中学生=50円

※障がい者、65歳以上の市民、市内の小・中学生や外国人留学生、ひろさき多子家族応援パスポートを持参の人は無料。年齢・住所を確認できるものの提示を。

古川智映子

1932年、弘前市生まれ。県立弘前中央高校、東京女子大学文学部卒業。高校教諭を経て、執筆活動に入る。著書はNHK連続テレビ小説『あさが来た』の原案本となった『小説土佐堀川』、『家康の養女 満天姫の戦い』など。

三浦雅士

1946年、弘前市生まれ。『ユリイカ』『現代思想』の編集長として活動。その後評論家に転じ、文学、芸術を中心に執筆活動を展開。著書は『私という現象』、『石坂洋次郎の逆襲』など。

☎ 郷土文学館 (☎ 37-5505)

▼講師 岩木かぢやらず会

▼体験料 250円～(コースターほか)

【青森の和ハーブ～身近な植物を活かす～】

▼とき 2月23日(木・祝)～3月12日(日)の午前9時～午後4時

▼内容 県内の和ハーブ(有用植物)20種のパネル展示など

☎ 鳴海要記念陶房館(賀田字大浦、☎ 82-2902、火曜日は休み)

パンフェスタ&ママフェスタ

市内外のベーカリーがヒロロスクエアに集い、人気のパンを販売する「パンフェスタ」



を3年ぶりに開催します。

また、駅前こどもの広場のママサークルによるハンドメイド作品の展示販売やワークショップを実施する「ママフェスタ」を同時開催します。

詳細はヒロロスクエアホームページ(<https://www.hirosquare.jp>)を確認を。

▼とき 2月18日(土)、午前10時～午後2時

▼ところ ヒロロ(駅前町)3階イベントスペース

☎ 市民文化交流館 (☎ 35-0154、午前8時30分～午後9時)

こどもの森2月の催し

【月例登山『行けるとこまで行ってみよ』】

▼とき 2月19日(日)、午前9時30分～午後2時30分

▼ところ こどもの森(坂元字山元、久渡寺境内)

▼対象 登山経験があり、冬山登山の装備で参加できる人

▼参加料 無料

▼持ち物 飲み物、昼食、タオル、替えの下着・靴下、雨具、防寒着

※事前の申し込みが必要。

【冬季開館日】

毎週土・日曜日、祝日、小・中学校の春休み期間

☎ こどもの森ビジターセンター(☎ 88-3923) / 市みどりの協会(☎ 33-8733)



poco a poco
アートのおたまご

【①作品展+塚本悦雄「彫刻展」
&「香りLab. 作品鑑賞と視
覚・嗅覚の関係を探る体験型
実験室」】

彫刻家・塚本悦雄氏
の白檀（びやくだ
ん）などによる
新作と、彫刻ワ
ークショップで
子どもたちが制作した作品の展
覧会です。さらに、作品鑑賞時
の視覚と嗅覚の働きを探究する
脳波計を使った実験を同時開催



します。自分自身の視覚・嗅覚
体験と脳の働きの連動性を確か
めてみませんか。

- ▼とき ①2月17日(金)～19日(日)の午前11時30分～午後6時
②2月18日(土)、正午～午後4時 / 19日(日)、正午～午後3時30分
- ▼ところ 弘前オランダ(百石町)ギャラリー
- ▼内容 ①展覧会、②実験ワークショップ
- ▼対象 ②小学生以上(18日=6人、19日=5人/先着順)
- ▼参加料 無料
※②は事前の申し込みが必要。

【②ワークショップ
「たまごで台湾カス
テラ+イースター
エッグ」】



- ▼とき ①3月4日(土)、②3月5日(日)の午前10時～午後0時30分、午後2時～4時30分(午前・午後のどちらかを選択)
- ▼ところ 弘前大学教育学部(文京町)①調理実習室、②美術制作室
- ▼内容 ①台湾カステラを作るワークショップ、②ウクライナのイースターエッグ「ピサンキ」の染料などを使ったイースターエッグ作りワークショップ

Hirosaki Art Times

ヒロサキ・アート・タイムズ #23

弘前れんが倉庫美術館に関連する情報を連載します。
■問い合わせ先 弘前れんが倉庫美術館(吉野町、
☎ 32-8950、https://www.hirosaki-moca.jp/)

展覧会を「演劇」で未来へつなぐー「もしもし演劇部」の挑戦

美術館になる前の煉瓦(れんが)倉庫で開催された、弘前市出身の現代美術家・奈良美智の3度の展覧会は、当時たくさんのボランティアに支えられて運営されていました。関わったボランティアたちは、奈良美智展弘前のことを略して「ナラヒロ」と呼んでいたそうです。

弘前れんが倉庫美術館では、現在「弘前エクスチェンジ」という枠組みの中で、この「ナラヒロ」について振り返り、考える活動を行っています。プロジェクトの一つ「もしもし演劇部」は、公募で集まった10代から20代までの参加者が3度の奈良美智展について調べ、思ったことや感じたことをもとに演劇を創作し、上演するというもので、演劇という形で表現することで新たな視点から展覧会を捉え直す試みです。

「もしもし演劇部」は、昨年9月に参加者10人が初めて顔合わせし、講師たちによるサポートのもと、奈良美智展の企画者やボランティア経験者から話を聞いたり、身体を動かしたり、ストーリーを作ったりするなど、約3カ月の間に計10回のワークショップを行いました。当初は短い朗読劇に仕上げる予定でしたが、活動を重ねる中でやりたいことやアイデアが湧き出てきて、セリフ

を覚え、動きもつけて、衣装や舞台美術も工夫して用意しました。

昨年の12月18日、展示室内で行われた成果発表会「A to A」では、奈良美智展に関わった人たちの体験談をもとにしたり、想像力を膨らませて新しい物語が加えられたりして作られたユニークな演劇作品が上演されました。多くの観客が見守る中、出演者たちはそれぞれの個性を生かしながら、堂々と演じきりました。

「もしもし演劇部」の活動は終了しましたが、「もしもし、奈良さんの展覧会はできませんか？」奈良美智展弘前 2002-2006 ドキュメント展(3月21日まで開催)の2階の展示室では、活動の痕跡や記録を紹介しています。また、これまでの活動レポートは当館のホームページで公開していますので、ぜひアクセスしてご覧ください。



◀「もしもし演劇部」
成果発表会の様子
撮影…長谷川正之

▼対象

- ①小学生～中学生=各回4組(1組2～4人)
- ②小学生～中学生=各回12人程度(先着順)
- ※事前の申し込みが必要。
- ▼参加料 500円(材料費として)
- ～①・②共通事項～
- ▼申し込み方法 ①は2月4日(土)の正午以降、②は2月12日(日)の正午以降に、申し込みフォーム(QRコード)から申し込みを。
※①の展覧会は、事前の申し込みは不要。



【③赤ちゃんも!音楽ファンも!
みんなのコンサート第10回】

- お箏(こと)と朗読劇の音楽会です。
- ▼とき 2月19日(日)、午後2時～3時(午後1時30分開場)
- ▼ところ ヒロロ(駅前町)4階市民文化交流館ホール
- ▼出演 木庭袋靖子さん(箏曲)、木庭袋社中
- ▼定員 50人程度(先着順)
※予約優先。
- ▼参加料 18歳以上=1,000円、18歳未満=無料
※当日受け付けでお支払いください。

▼申し込み方法

- 申し込みフォーム(QRコード)またはEメール、電話で申し込みを。
- ▼その他 客席はマット席(120cm四方)と椅子席あり/ベビーカーのまま入場可/演奏中の入退場は自由/授乳室やオムツ替えのできるお手洗いが会場脇にあります。
- 🗨アートワールドひろさき(①・②=出くいで)さん、☎ 39-3383 / ③=朝山さん、☎ 39-3381、①～③ 共通 = 📧 artworld@hirosaki-u.ac.jp)
※令和4年度市民参加型まちづくり1%システム採択事業。



弘前れんが倉庫美術館・土淵川吉野町緑地のイベント

弘前れんが倉庫美術館(吉野町)

ウィンターナイトミュージアム

- ▼とき 2月11日(土・祝)、午後6時～7時30分
- ▼参加料 1,800円
- ▼申し込み方法 電話またはホームページ(QRコード)から予約を。
- 🗨弘前れんが倉庫美術館(☎ 32-8950)



作品展「アートボックスでオリジナル・ミニチュア美術館!」

- 子どもたちがワークショップで思い思いに作りあげた「ミニチュア美術館」を展示します。
- ▼とき 2月15日(水)～20日(月)の午前9時～午後5時
※17日(金)・18日(土)は午後9時まで。
- ▼会場 市民ギャラリー
- ▼観覧料 無料(市民ギャラリーのみ)
- 🗨弘前大学教育学部(出くいで)さん、☎ 39-3383)

土淵川吉野町緑地(吉野町)

冬キャンプ in 弘前れんが倉庫美術館前

- ▼とき 2月11日(土・祝)、正午～12日(日)、午前11時
- ▼内容 雪上でのテントの立て方講習会、キャンプ飯の試食、薪ストーブの使用体験など
- ▼定員 10サイト
- ▼参加料 1サイト5,000円
- ▼申込期限 2月8日(水)
- ▼その他 駐車場は1台まで無料で利用可
※詳細は電話または当館の窓口(駅前町、ヒロロ3階)で問い合わせを。
🗨市民文化交流館(☎ 35-0154、午前8時30分～午後9時)

ティラノサウルスレース in 弘前

- ティラノサウルスのエアー着ぐるみを着て雪上を走る恐竜レースです。弘前初開催!
- ▼とき 2月12日(日)、午前11時30分出走(受け付けは午前10時から)
- ▼参加料 中学生以上=1,000円、小学生以下=500円(傷害保険料を含む/観覧は無料)
- ▼対象 ティラノサウルスキット(エアー着ぐるみ/約5,000円程度)を事前に購入できる人(類似品でも参加可能)=100人(先着順)
- 🗨同実行委員会事務局(弘前BRICK内、☎ 40-2775)



▲参加は申し込みフォーム(QRコード)から。

緑の相談所

2月の催し

【講習会】

- 園芸用土と肥料の話
18日(土)、午後1時30分～3時30分
- デンドロビウムとセッコクの植え替え
25日(土)、午後1時30分～3時30分
※定員=各回20人(先着順) / いずれも電話で予約が必要。
- 【展示会】
- ツバキ展 3日(金)～12日(日)
- 花の写真展 25日(土)～3月5日(日)
- 【休館日】
6日(月)・13日(月)・20日(月)・24日(金)・27日(月)
- 緑の相談所(弘前公園内、☎33-8737)

春の文化芸能祭

- ▼とき 3月5日(日)、正午から(開場は午前11時30分から)
- ▼ところ 岩木文化センターあそべる(賀田1丁目)
- ▼内容
- ◎第1部
 - ①ジャズ演奏(スイングハットジャズオーケストラ)
 - ②登山ばやし ほか(岩木登山ばやし保存会)
 - ③歌謡(あそべる歌の会)
 - ④民謡のおどり(岩木おどりの会)
 - ⑤相撲甚句(弘前相撲甚句愛好会)
 - ⑥新舞踊(長谷川清一さん<岩木芸能愛好会>)
 - ⑦獅子踊(鳥井野獅子踊保存会)
 - ⑧よさこいソーラン(弘前櫻会)
 - ⑨ジャズ演奏(ジャズバンドいおあ)
- ◎第2部
舞踊発表会(西川流菊静会)
- ◎第3部

歌謡ショー(三津谷有華さん)
▼入場料 無料(入場整理券はありません)
●岩木文化協会(長谷川さん、☎090-4638-4322)

ふれあい高齢者ゲートボール親善大会

高齢者の健康維持と生きがいを高め、参加者同士の親睦を深めるための大会です。ゲートボールで冬季間の運動不足を解消しませんか。
▼とき 3月11日(土)、午前9時～午後1時
▼ところ 克雪トレーニングセンター(豊田2丁目)
▼対象 60歳以上の市民
▼参加料 1チーム(6人以内)=3,000円(当日徴収)
▼申し込み方法 2月22日(水)までに、弘前市ゲートボール協会(五十嵐さん、☎090-8928-2328、F 34-9409)へ申し込みを。



●弘前市社会福祉協議会(☎33-1161、F 33-1163)

教室・講座

ベテランズセミナー

▼とき 2月16日(木)、午前10時～11時
▼ところ ヒロロ(駅前町)4階市民文化交流館ホール
▼テーマ 交通ルールは誰が守るもの?～皆でつくろう、地域の安全～
▼講師 長内知香さん(弘前モータースクール交通教育センター)



ター)
▼対象 おおむね60歳以上の市民=30人程度(先着順)
▼受講料 無料
▼申込期限 2月13日(月)
▼申し込み方法 電話かファクスまたはEメール(住所<町名まで>・氏名<ふりがな>・年齢・電話番号を記入)で申し込みを。
●中央公民館(☎33-6561、F 33-4490、E chuoukou@city.hirosaki.lg.jp、火曜日は休み)

柴田学園×弘前丸魚公開講座

【おさかな食育クッキング～旬の魚



いただきます♪～】
▼とき 2月25日(土)、午前10時～11時30分
▼ところ 柴田学園大学短期大学部(上瓦ケ町)
▼対象 親子または一般=24人
※応募多数の場合は抽選/当選者に参加案内を郵送します。
▼受講料 1組500円
▼申込期限 2月14日(火)
▼申し込み方法 電話または申し込みフォーム(QRコード)から申し込みを。
●弘前丸魚(☎27-2345、H http://www.hmaruuo.co.jp/senshuraku/ryouri.html)



2月 図書館休館日

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28				

※変更となる場合があります。

- 弘前図書館(下白銀町) ☎32-3794
- 岩木図書館(賀田1丁目) ☎82-1651
- こども絵本の森(ヒロロ<駅前町>3階) ☎35-0155
- 相馬ライブラリー(相馬やすらぎ館<五所字野沢>内) ☎84-2316

こども絵本の森 雑誌バックナンバー 無料提供

こども絵本の森で所蔵する子育て情報雑誌を、希望者に無料で配布します。
▼とき 2月26日(日)、午前10時～(整理券配布) ※なくなり次第終了。
▼ところ こども絵本の森(駅前町、ヒロロ3階) おはなしコーナー
※1人3冊まで、付録1点まで/持ち帰り用袋を持参してください。
●こども絵本の森(☎35-0155)

農業の「働き方改革」に向けた労務管理研修会

▼とき 2月15日(水)、午後1時～4時

▼ところ 岩木文化センターあそべる(賀田1丁目)

▼対象 農業者および農業法人、農業に関心のある人、福祉関係者など=80人(先着順)
▼参加料 無料
※予約優先/当日参加も可。
▼申込期限 2月10日(金)

●農政課地域経営係(☎40-7102、F 32-3432、E nousei@city.hirosaki.lg.jp)

- ▼内容
- ①農業の労働力確保セミナー
 - ・農業の働き方改革による魅力ある職場づくりに向けて
 - ・弘前市職員の兼業について
 - ・1日農業バイトアプリ「デイワーク」について
 - ②農福連携セミナー
 - ・農福連携モデル事業の成果発表
 - ・農福連携モデル事業の取り組み事例紹介(農業者・障がい福祉事業所)



生きがいセンターの 教室受講者募集



- ▼**受講期間** いずれも4月～翌年3月の1年間
- ▼**ところ** 生きがいセンター（南袋町）
- ▼**内容**

教室名	主な活動日程	定員
①書道教室	毎月第1・3水曜日 午後1時30分～3時30分	25人
②日本舞踊教室	毎月第2・4水曜日 午前10時～正午	20人
③茶道教室（表千家）	毎月第1・3木曜日 午前10時～正午	15人
④茶道教室（裏千家）	毎月第2・4木曜日 午前10時～正午	15人
⑤健康料理教室（1）	毎月第3金曜日 午前10時～午後1時	20人
⑥健康料理教室（2）	毎月第4金曜日 午前10時～午後1時	20人
⑦健康体操教室	毎月第1・3土曜日 午前10時～正午	15人
⑧絵画教室（旧鷹ヶ丘）	毎月第1・3火曜日 午後1時～3時	20人
⑨俳句教室（旧鷹ヶ丘）	毎月第1・3木曜日 午後1時～3時	20人

- ▼**対象** 65歳以上の市民
- ▼**受講料** 無料（一部の教室は教材費が必要）
- ▼**申し込み方法** はがきに住所・氏名（ふりがな）・生年月日・性別・電話番号・教室名を記入の上、生きがいセンター（〒036-8272、南袋町1の20）へ。
※受講は1人2つまで／健康料理教室は⑤または⑥のいずれか1つを選択／電話での申し込みはできません。
- ▼**申込期限** 2月15日（水・当日消印有効）
- ▼**抽選や結果の通知など** 受講希望者が定員を超えた場合は抽選で決定／より多くの市民に参加してもらうため、同じ教室での受講が初めての人を最優先し、次に連続して3年を超えない人を優先（ただし、⑧・⑨は旧鷹ヶ丘老人福祉センターにて実施していた教室のため、以前からの受講者を優先します）／結果は後日通知します。
- ☎生きがいセンター（☎ 38-0848、月曜日は休み〈月曜日が祝日の場合は翌日が休み〉）

柴田学園大学短期大学部 公開講座

地域交流・生涯学習活動の一環として、学ぶことの楽しさや魅力を地域の皆さんに発信することを目的に、公開講座を実施しています。

- ▼**とき** 2月18日（土）、午前9時30分～正午
- ▼**ところ** 柴田学園大学短期大学部（上瓦ケ町）

▼**講座名** 「おいしい津軽のおかず」を作しましょう

- ▼**対象** 高校生以上＝28人
- ▼**受講料** 800円

▼**申し込み方法**
ホームページ、申し込みフォーム（QRコード）、ま



またはEメール、ファクス（希望講座名・氏名・住所・電話番号・Eメールアドレス・年代・職業〈学校〉を明記）で申し込みを。

※応募多数の場合は抽選で決定／受講者にははがきで受講票を送りますので、当日持参してください。

▼**その他** 出前講座も行っています。詳しくはホームページをご覧ください。

☎柴田学園大学短期大学部（☎ 32-6151、F 32-6153、E jc_chibunsen@shibata.ac.jp、H https://jc.shibata.ac.jp/region/openlecture/）

市民ボランティアによる パソコン講座

学ぶ市民のためのパソコン講座です。

【エクセル2019 応用講座】

- ▼**とき** 3月5日・12日・19日（いずれも日曜日）の午前10時～午後3時

- ※3日間で1セットの講座。
- ▼**ところ** 総合学習センター（末広4丁目）
- ▼**内容** 表計算ソフト（エクセル2019）の活用方法など
- ※エクセル2019以外のバージョンを使っている人は操作方法が異なりますので、ご注意ください。



- ▼**対象** エクセル2019入門講座を受講した市民、または普段からエクセル2019を使用している市民＝16人（先着順）

- ▼**参加料** 無料
- ▼**持ち物** 筆記用具、USBメモリ、昼食（マスクの着用を）
- ▼**申し込み方法** 2月12日（日）以降に、電話または来館で申し込みを。
- ☎学習情報館（総合学習センター内、☎ 26-4800）

りんご栽培講座

- ▼**とき** 3月2日（木）・3日（金）、午前10時～正午、午後1時30分～3時30分
- ※2日間で1セットの講座／天候等により、講座日程を変更する場合があります。

- ▼**ところ** りんご公園（清水富田字寺沢）りんごの家2階 研修室・園地

- ▼**内容** りんごのせん定（実技あり）、病害虫の防除、りんごの品種など



- ▼**講師** 青森県りんご協会、りんご研究所

- ▼**受講料** 無料
- ▼**定員** 30人

▼**持ち物** 筆記用具、防寒着

※事前の申し込みが必要。

☎りんご公園（☎ 36-7439）

弘前大学グリーンカレッジ 2023年度入校生(第8期生) 募集

学生と一緒に大学の講義を受講するなど、地域の皆さんの「学び直し」のために、弘前大学グリーンカレッジを開講します。詳細はホームページをご確認ください。



- ▼**開講日** 4月11日（火）予定

▼**講義内容** 6分野の科目から受講可

- ▼**受講料** 1科目につき1万1,500円

▼**選考方法** 申込書類を審査の上で決定

▼**申込期限** 2月28日（火）

☎弘前大学学務部教務課教務企画担当（☎ 39-3709、H https://www.hirosaki-u.ac.jp/society/green-college/）



自動車税（種別割・環境性能割）の減免制度

身体障害者手帳、戦傷病者手帳、療育（愛護）手帳、精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている人、またはその人と生計を一つにする人が、これらの手帳の交付を受けている人のなりわい、通院、通学などのために自動車を利用している場合で、その障がいの程度や自動車の使用状況などが一定の条件に該当するときには、申請により自動車税（種別割・環境性能割）の減免を受けることができます。

詳しくは中南地域県民局県税部までお問い合わせください。軽自動車税（種別割）については、市民税課へお問い合わせください。

☎中南地域県民局県税部納税管理課（☎ 32-4341）／市民税課（☎ 35-1117）

夜間・休日納税相談のご利用を

▼夜間納税相談 2月20日(月)～22日(水)、24日(金)、27日(月)の午後5時～7時30分

▼休日納税相談 2月26日(日)、午前9時～午後4時

納期限までに納付できない事情がある人は、未納のままにせず、相談においでください。

休日納税相談日は、電話相談や市税などの納付もできます。※特別な理由がなく納付や連絡がない場合は、滞納処分を執行することがあります。
☎ 収納課(市役所2階、☎ 40-7032、40-7033)

農業者年金に加入しましょう



▼加入できる人 60歳未満の国民年金第1号被保険者(国民年金保険料納付免除者を除く)で、年間60日以上農業に従事する人

▼保険料の額 月額2万円～6万7,000円(自由に決めることができます)

※支払った保険料は全額が社会保険料控除の対象となります/35歳未満で政策支援加入の対

象とならない人は1万円から加入できます。

▼注意事項など

①農業者年金に加入する人は、国民年金の付加年金(月額400円)への加入が必要です。
②国民年金基金および個人型確定拠出年金(イデコ)とは重複加入できません。

詳しい内容は、お問い合わせください。

☎ 農業委員会事務局(☎ 40-7104)

求人説明会・ミニ面接会

市内企業の人事担当者が、仕事内容などを生の声でお伝えします。



求職中であれば、誰でも無料で参加でき、面接を受けることも可能です。

▼とき 2月9日(木)・24日(金)の午後1時30分～4時30分(受け付けは午後1時から)

▼ところ ヒロロ(駅前町)4階市民文化交流館ホール

▼参加企業数 3社以上(予定)

▼定員 20人程度

▼申し込み方法 当日までに申込書を窓口を持参するか、電話、ホームページから申し込みを。

▼その他 ハローワークに未登録の人も参加できます/雇用保

険受給者は求職活動実績の対象になるため、雇用保険受給資格者証の持参を/参加企業は青森労働局または市ホームページで確認を/UJIターンの求職者を対象とした、スカイプ(インターネットによるテレビ電話)での面談ができます(開催日の3日前までの申し込みが必要)。

☎ I・M・S(弘前就労支援センター内、駅前町、ヒロロ3階、☎ 55-5608、H <https://hirosaki-integral.ims-hirosaki.com>)

自衛官募集



【予備自衛官補(一般・技能)】

▼受験資格 一般…18歳以上

34歳未満

技能…18歳以上の採用要綱に記載された国家資格保有者

▼試験日 4月8日(土)～23日(日)のいずれか指定された1日

▼申込期限 4月6日(木)

【医科・歯科幹部】

▼受験資格 医師・歯科医師の免許を取得している人

▼試験日 6月23日(金)

▼申込期限 6月8日(木)

※受験資格などの詳細は、お問い合わせください。

☎ 自衛隊弘前地域事務所(城東中央3丁目、☎ 27-3871)

市のテレビ番組 元気！弘前

健康寿命の延伸に向けて

～健康づくりを支える住民ボランティア～

市では、市民の健康を支えるため、弘前市食生活改善推進委員会、ひろさき健幸増進リーダー、弘前市健康づくりサポーターがさまざまな健康づくりの活動を行い、活躍しています。今回はその取り組みを紹介します。

▼放送日 2月11日(土・祝)、午前11時15分～11時30分

▼放送局 青森テレビ(ATV)

☎ 広聴広報課(☎ 35-1194)



家畜飼養者の皆さんへ

定期報告の時期です

家畜伝染病予防法では、家畜(鶏を含む)飼養者は毎年定期報告することが義務付けられています。報告対象の家畜の飼養者は忘れずに報告をしてください。

▼報告対象

①鶏(青森シャモロック、比内地鶏、烏骨鶏、軍鶏、チャボ、声良鶏、金八鶏など含む)、あひる、うずら、きじ、ほろほろ鳥、七面鳥、だちょう

②鳥類以外(牛、馬、豚、山羊、めん羊、いのしし、鹿)

▼報告内容 令和5年2月1日時点の頭羽数

▼報告様式 定期報告書の様式を該当者へ郵送します(つがる家畜保健衛生所ホームページにも掲載しています)。

今年度から家畜を飼養した人は、同所ホームページから様式をダウンロードするか、農政課に連絡してください。郵送します。

▼提出方法 2月24日(金・必着)までに、農政課(〒036-8551、上白銀町1の1、市役所3階)へ郵送または持参してください。

☎ 西北地域県民局地域農林水産部つがる家畜保健衛生所(☎ 0173-42-2276) / 農政課農産係(☎ 40-0504)

労働相談会



青森県労働委員会では、個々の労働者と事業主との間に生じた労働条件などのトラブルを解決するため、無料の相談会を開催します。

▼とき ①2月7日(火)、午後1時30分～3時30分、②2月19日(日)、午前10時～正午

▼ところ 青森県労働委員会(青森市新町2丁目)

▼対象 県内の労働者、事業主 ※随時受付(事前予約を優先)。

☎青森県労働委員会事務局(☎017-734-9832、F 017-734-8311、労働相談ダイヤル ☎0120-610-782〈フリーダイヤル〉)

き家などの適正管理と有効活用に向けた相談に、空き家相談員(宅地建物取引士)、建築士、司法書士、市職員がお答えします。

▼とき 2月9日(木)、午前10時30分～午後2時

▼ところ ヒロロ(駅前町)3階多世代交流室2

▼相談料 無料

▼持ち物 相談内容に関する契約書や住宅の図面等を持参してください。

※事前の申し込みが必要。予約なしでも可能な限り受け付けますが、待ち時間が長くなる場合があります。

☎青森県居住支援協議会(☎017-722-4086)

健生病院・健生クリニック おこまりごと電話相談会

医療・介護・健康・生活などの悩みに、医師、看護師、薬剤師、社会福祉士、リハビリテーション技師、管理栄養士などの専門職が無料で電話相談に応じます。

▼とき 2月18日(土)・3月

11日(土)の午前9時30分～11時30分

▼相談専用電話 ☎55-7690 (電話相談会の開催日以外は電話相談は不可)

☎健生病院・健生クリニック(☎55-7690)

赤十字活動にご協力を

日本赤十字社は、「救いを託されている」団体です。

現在、日本赤十字社では、災害・紛争・感染症で失われるいのちを守り、その苦痛を軽減するための活動のほか、平時からの地域や教育現場における防災・減災の知識・技術の普及強化、行政などと連携した地域での講習普及など、地域の回復力の強化に取り組んでいます。

こうした活動は全て、皆さんから寄せられた会費と寄付金によって支えられています。

市民の皆さんの会員加入、活動資金の支援についてご協力をお願いします。

☎弘前市社会福祉協議会総務課(☎33-1161)

住まいと空き家相談会

高齢者や障がい者、低所得者、子育て世帯が安心して暮らせる住まいの確保と、空



スポーツ安全保険に加入しよう



スポーツ安全保険とは、スポーツ活動、文化活動、ボランティア活動、地域活動などを行う社会教育活動(4人以上の団体)を対象とした保険です。

▼対象となる事故 団体活動中、往復中の事故(自動車事故による賠償責任保険は適用外)

▼補償内容 傷害保険(通院、入院、後遺障害、死亡)、賠償責任保険、突然死葬祭費用保険

▼加入受付期間 令和5年3月1日～令和6年3月30日

※令和5年度からWebでの加入のみになります。

▼保険期間 令和5年4月1日、午前0時～令和6年3月31日、正午

※令和5年4月1日以降に加入手続きをした場合は、翌日の午前0時～令和6年3月31日正午。

▼掛金 1人800円～1万1,000円(年額)

※団体の活動内容、年齢などによって異なります。

☎スポーツ安全協会(☎017-718-1136、H https://www.sportsanzen.org/)



各種スポーツ・体操教室

教室名	とき	ところ	内容	対象・定員	参加料	問い合わせ・申込先
①スポーツアカデミー教室	2月5日・12日・19日・26日(いずれも日曜日)、午前10時30分～正午	千年小学校(小栗山字川合)体育館	ファイテン認定トレーナーによるコンディショニング・トレーニング	小・中学生 = 各回10人(先着順)	1回1,000円(各自傷害保険へ加入を)	事前にスポーツクラブwithファイテン(山崎さん、☎090-7930-0180)へ。 (※1)
②ピラティス教室	2月17日～3月17日の毎週金曜日、午後7時～8時	克雪トレーニングセンター	ピラティスの基本動作	市民または近隣市町村に在住の人 = 各回15人	1人1回500円(傷害保険料込み)	克雪トレーニングセンター(豊田2丁目、☎27-3274) (※2)
③市民弓道教室	2月20日～3月20日の毎週月・木曜日、午前10時～正午	青森県武道館(豊田2丁目)近的弓道場	弓の扱い方、基本動作、射技指導、巻わら稽古、的前稽古	市民=5人(応募多数の場合は抽選)	300円(保険料として初日に徴収)	2月15日(水)までに、弘前弓道会(福島さん、☎090-5231-9562)へ。
④プールで筋トレ・脳トレ水中ウォーキング教室	①2月20日(月)・22日(水)・27日(月)、3月2日(木)・6日(月)の午後1時30分～2時30分 ※3月2日のみ午前10時30分～11時30分。 ②3月9日(木)・13日(月)・16日(木)・20日(月)・23日(木)、午前9時30分～10時30分	河西体育センター	水中ウォーキングの基本から応用まで、水中でのストレッチなど	市民=各コース12人	無料	2月10日(金・必着)までに、河西体育センター(〒036-8316、石渡1丁目19の1、☎38-3200)へ。 (※3)(※4)
⑤水泳教室(背泳ぎ)	3月1日～17日の毎週水・金曜日、午後1時～2時	温水プール石川	背泳ぎの基本泳法	クロールを15m以上泳げる市民=15人	無料	2月15日(水・必着)までに、温水プール石川(〒036-8123、小金崎字村元125、☎49-7081)へ。 (※3)(※5)
⑥水泳教室(クロール)	3月6日～23日の毎週月・木曜日、午前10時～11時		クロールの基本泳法	クロールを25m泳げない市民=15人	無料	

- (※1) …室内用シューズの持参を。
- (※2) …ヨガマットの持参を。
- (※3) …往復はがきに、住所・氏名(ふりがな)・年齢(生年月日)・電話番号・保護者氏名(参加者が未成年の場合)・教室名(希望コース/④は①・②のいずれかも)を記入の上、各申込先まで郵送を。 ※家族や友人同士での参加は、はがき1枚で応募できます/応募多数の場合は抽選で決定します。
- (※4) …水着、水泳帽の持参を。
- (※5) …水着、水泳帽、ゴーグルの持参を。

～共通事項～

飲み物・タオルなどを持参の上、運動のできる服装で参加してください。詳しい持ち物などは各施設に確認を。

また、各自、傷害保険に加入してください。



健康の掲示板

※新型コロナウイルス感染拡大の状況などによって適宜見直すことがあります。ご理解とご協力のほど、よろしくお願いいたします。

弘前市保健センター（健康増進課、〒036-8711、野田2丁目7の1、☎37-3750、Eメール kenkou@city.hirosaki.lg.jp）

母子保健

乳幼児の健康診査および離乳食教室の対象者には、個別に通知しています。詳しくは個別通知をご覧ください。

なお、いずれの健診も受診の際は母子健康手帳を持参してください（★の健診は、健康診査票が必要です）。

名称	とき・内容	ところ・予約先
乳幼児の健康診査	4カ月児★ 7カ月児★	各指定医療機関での個別健診
	1歳6カ月児★	保健センターでの健診の日程=2月15日(水)・16日(木) / 受付=午後0時20分~1時55分 ※保健センターでの健診を受ける前に必ず各指定医療機関での個別健診の受診を。〈※1〉
	3歳児	2月8日(水)・9日(木) / 受付=正午~午後1時25分 〈※1〉
	2歳児歯科★	各指定歯科医療機関での個別健診
離乳食教室	初期(生後4~6カ月児)	3月6日(月)、①受付=午前10時~10時10分(実施=午前10時10分~10時50分) / ②受付=午前11時10分~11時20分(実施=午前11時20分~正午) 〈※1〉
	中期・後期(生後7~11カ月児)	3月3日(金)、①受付=午前10時~10時10分(実施=午前10時10分~11時) / ②受付=午前11時10分~11時20分(実施=午前11時20分~午後0時10分) 〈※1〉
		2月15日(水)までに、駅前こどもの広場(駅前町、ヒロコ3階、☎35-0156、午前10時~午後6時、土・日曜日、祝日も可)に申し込みを。

〈※1〉…予約制です(対象者には個別に通知)。詳しくは個別通知をご覧ください。

検診

市で実施している健(検)診の詳細内容は、毎戸配布している「健康と福祉ごよみ」をご覧ください。健(検)診を受診し、精密検査の判定があった場合は、早めに医療機関を受診しましょう。

健康と福祉ごよみはこちらから

健康と福祉ごよみ 検索

インターネット予約はこちらから

弘前市 集団検診 検索



弘前市食生活改善推進委員会

File.134

食改さんおすすめ レシピ

乳製品を使った簡単和スイーツ

小豆マスカルポーネパフェ

材料

4人分

- カステラ…… 1切れ(50g)
- マスカルポーネチーズ 100g
- ギリシャヨーグルト(プレーン) 60g
- 砂糖…………… 大さじ1
- 小豆(缶詰)…………… 80g
- // (飾り用)…………… 40g
- 抹茶パウダー(飾り用) 少々

- ①カステラは1cm角のサイコロ状に切っておく。
- ②ボウルにマスカルポーネチーズ、ギリシャヨーグルト、砂糖を入れ、なめらかになるまで混ぜ合わせておく。
- ③器(小さめのカップやグラス等)を4つ用意し、それぞれの器の底にカステラの半分量を4等分した量を敷き詰め、その上に小豆と②を重ねていく。
- ④残りのカステラと小豆を飾り、茶こしで抹茶パウダーを振りかける。



おすすめポイント

生クリーム代わりにギリシャヨーグルト(水切りヨーグルト)を使うことで、コクがあってさっぱりとした口当たりになります。バレンタインの手作りスイーツにいかがですか？



■1人分の栄養量

エネルギー/192kcal、たんぱく質/4.4g、脂質/7.5g、炭水化物/25.9g、カルシウム/62mg、食塩相当量/0.1g

定期予防接種など

【子どもの定期接種】

予防接種の標準的な接種時期は、免疫の減少に加え、感染症にかかりやすい年齢や重症化しやすい年齢などを考慮して決められています。対象年齢から外れると有料になりますので、体調の良いときに計画的に接種しましょう。小学校に入学する前に、受けていない予防接種がないか母子健康手帳で確認しましょう。小学校入学以降に接種する日本脳炎第2期、二種混合(ジフ

テリア・破傷風)、子宮頸がん予防ワクチンについては、接種対象年齢になりましたら個別にお知らせします。

【高齢者肺炎球菌感染症の定期接種】

肺炎は、季節を問わず誰でもかかる可能性があり、かかると急激に症状が進んでしまうことがあります。肺炎の中でも、肺炎球菌が原因で起こる肺炎にはワクチン接種が有効です。今年度対象となる人には個別に通知していますので、希望する人は早めに接種しましょう。

【おたふくかぜワクチンの接種費用を助成】

おたふくかぜは難聴等の合併症を起こす危険性がありますが、ワクチンを接種することで予防できます。



- ▼実施期間 3月31日まで
- ▼対象 満1歳と令和5年度小学校に入学する予定の幼児
- ※おたふくかぜにかかったり、ワクチンを2回接種した幼児は対象から外れます。
- ▼自己負担額 4,000円(生活保護受給者は無料)

各種相談

名称	内容	とき	ところ
こころの健康相談	本人や家族のこころの悩み(眠れない、生きづらさを感じる、閉じこもりがち、家族を亡くした等)の相談	2月7日(火)、午前9時~正午(前日までに予約が必要。「こころの病気」の治療をしていない人を優先)	弘前市保健センター(野田2丁目、☎37-3750)
のびのび子ども相談	発達相談(ことばについて心配、落ち着きがないなど)。対象は市民で1歳以上の幼児とその家族。母子健康手帳の持参を。	平日の午前9時30分~午後3時、1組あたり1時間程度(相談日の前日までに予約が必要)	

たばこの健康被害防止にご協力を

■問い合わせ先 健康増進課(☎37-3750)

「禁煙ポスター」を無料で配布

市民や観光客の受動喫煙を未然に防ぐため、店舗等の出入口など、外から見える場所に貼り付ける「禁煙ポスター」を配布しています。

ポスター掲示に協力できる人や店舗等の皆さんはお問い合わせください。なお、市ホームページから画像をダウンロードして使用することもできます。



▲禁煙ポスター(A5版・紙製)

出前講座を実施

たばこの健康被害防止対策に関する出前講座を実施しています。市の取り組み状況や改正健康増進法の内容、たばこの健康への影響等をわかりやすく説明します。町会や企業の職場研修、友人グループなどで、ぜひご利用ください。

禁煙相談を受け付け

禁煙を希望する人を対象に、無料で禁煙相談を実施しています。相談を希望する場合は、お問い合わせください。

市では、がんなどの疾病予防の観点から、平成28年に「弘前市たばこの健康被害防止対策の指針」を策定し、たばこの健康被害防止に向けて取り組んでいます。平成30年には「健康増進法の一部を改正する法律」が成立し、望まない受動喫煙を防止するための取り組みは「マナーからルールへ」と変わりました。これからもたばこの健康被害防止のため、市の取り組みへのご理解とご協力をお願いします。



※川柳は、すべて応募者の表記にしたがっているため、一部当て字などで表記する場合があります。

愛犬と雪道散歩初日の出
初詣三回転けた愛宕山
タスキ継ぐきずなに深いチーム愛
夢のなか天の妻から愛のムチ
愛読書トイレに山積みくずれてる
赤ワイン今日の終わりの愛飲酒
鳥居の鬼コ慈愛に満ちて崇められ
わが里の鬼は愛嬌農の神
愛は勝つ信じて平和を祈ってる
愛し児の寝顔飽きない新米ママ
温泉や疲れた体に愛裸部湯
人生と古き愛車ここにあり
自宅愛リノベーションで最高潮
知かへずも同じことする血すじ愛
卒寿みち愛のちぎりは消えうせず

愛されていたと気付いた時遅し
愛着のユニフォームで気分上げる

ますのすけ
桜子

洋子
敬徳
早紀子
紺屋の白袴
長尾 美津子
對馬 義秀
神 夢
成田 純
細川 正博
藤代 藤子
藤士 長五郎

安んくん
三浦 康貞
まっこ
石岡 麻理
福士 長五郎

さらっと一句・川柳

選・広聴広報課

Smile 1歳の記念に写真を
通信 掲載しませんか

川柳のお題 「安」

▼対象 令和5年3月に1歳の誕生日を迎える市内在住の子
▼掲載内容 子どもの写真・氏名(ふりがな)・生年月日
▼応募方法 ①写真1枚(プリントまたはデータ)に、②子どもの氏名(ふりがな)・生年月日・住所・保護者氏名・電話番号を添えて、郵送、持参またはEメールで応募を。

★問い合わせ・応募先
広聴広報課(〒036-8551、上白銀町1の1、市役所2階、☎35-1194、ファクス35-0080、Eメールkouhou@city.hirosaki.lg.jp)

お題から自由に発想して、一句ひねってみてください。
▼応募方法 次の事項を記入し、郵送、持参、ファクスまたはEメールで応募を。
①住所・氏名・ペンネーム(希望者のみ)・電話番号
②川柳(1人一句まで)
※応募多数の場合は、掲載されない場合もあります。

※Eメールで投稿した人には受信完了メールを自動配信しています。メールが届かない場合は広聴広報課へご連絡ください。

各地で行われたイベントやまちの話題をお届けします★

弘前圏域合同移住セミナー



12月18日 移住・交流情報ガーデン（東京都中央区）

身 近にサウナや温泉がある弘前圏域8市町村での暮らしや魅力、移住後のギャップなどについてゲストが語りました。参加者は、個別移住相談やゲストとの交流を通して理解を深めていました。

ライアー音浴体験



12月23日 鳴海要記念陶房館（賀田字大浦）

ラ イアーは、金属製の弦が張られた弦楽器。参加した16人は、直接触れてライアーに親しみ、ライアーが奏でる優しくあたたかな音色にうっとり聞き入っていました。

科学工作&マジック体験



12月26日 市民文化交流館ホール（駅前町）

視 覚に関する錯覚（錯視）や理科・算数の仕組みを活用したマジックを11組の親子が体験。絵が動いているように見えるスリットアニメを、驚きながらも楽しく制作していました。

二十歳の祭典



1月8日 市民会館（下白銀町）

出 身中学校ごとに午前・午後の2部制で開催しました。出席者は二十歳の自覚をもった真剣な表情で式典に臨み、式典終了後は旧友と写真を撮るなどして再会を喜び合っていました。

生涯骨太クッキング講座



1月13日 保健センター（野田2丁目）

低 栄養・フレイル（加齢により体や心の働きなどが弱くなった状態）予防のための料理講座に7人が参加。食生活改善推進員の指導を受けて、乳製品を使った3品の料理を完成させていました。

弘前市・西目屋村消防団出初式



1月15日 土手町通り

消 防団員が「災害のない安全なまち」を目指し、迫力のあるまとい振りや勇壮な分列行進などを披露しました。3年ぶりに開催した新年の風物詩に、観客からは大きな拍手が送られました。

みんなが撮った 弘前の「いいかも!!」

弘前の魅力を切り取ったインスタグラムの投稿写真をいくつか紹介します。あなたも弘前の「いいかも!!」と思う魅力を見つけて、写真を投稿しませんか？「弘前×雪明かり」をテーマに、ハッシュタグ #ecomeonhirosaki をつけて、美しい景色や街の風景を投稿してください。投稿された写真は、市公式インスタグラムや広報ひろさきで紹介することがあります。

問い合わせ先 広聴広報課 (☎ 40-0494)

市公式インスタグラム 「いいかも!! 弘前」 (@e_comeonhirosaki)



ひろさきっ子の作品 ArtWorks by Hirosaki Children Vol.9

令和3年度弘前地区小・中学校美術展の受賞作品を全9回で紹介してきましたが、今回が最終回です。子どもたちが作品に込めた夢、楽しい思い出、豊かな心をご覧ください。

問い合わせ先 学校指導課 (☎ 82-1644)

「生きものとなかよし」
 ささもり いより 笹森 弥季さん（西小学校3年）

魚の色をよく考えてかきました。はいけいの色も工夫することができました。

たか丸くんの **ごみ減量速報**

令和4年11月の **ごみ排出量 4,550t** **311t減!** (昨年同月比)

まだ使える不用品はリユースへ
 リユースショップやフリマアプリのほか、「ジモティー」や「ひろさきリユース促進掲示板」なども活用しよう♪

問い合わせ先 環境課廃棄物政策係 (☎ 32-1969)

今月の納税

市・県民税 第4期
 国民健康保険料 第8期
 介護保険料 第8期
 後期高齢者医療保険料 第8期

納期限 **2/28 (火)**

納税には便利な口座振替をぜひご利用ください。



広報ひろさきは環境にやさしい
インキを使用しています。

QRコードは(株)デンソーウェーブの登録商標です。



2/3(金) ▶ 14(火)
午後4時～9時

土・日曜日は正午～午後2時も営業/
天候状況により短縮することがあります

市民中央広場(元寺町)に、今話題の透明グランピングドームを設置するほか、キッチンカーの出店や近隣の協力飲食店からのデリバリーも行います。恋人や友人、家族と特別な空間で特別な時間を過ごしませんか。

▼内容

- ①透明グランピングドームの貸出による飲食スペース提供(利用料=1張りにつき1時間1,000円/定員=1張りにつき4人まで)
※会場内には無料で飲食できるスペースも設置します/ドームの利用はホームページ(QRコード)から事前の申し込みが必要。
- ②キッチンカー・フードコーナーの出店、土手町・鍛冶町協力店からのデリバリー
- ③イグルー制作(4日(土)・5日(日)限定)
※イグルー…雪のブロックで作る簡易住居。



- ④アウトドアグッズ展示販売(土・日曜日限定)
- ⑤スウェーデントーチやたき火による光の演出
- ⑥そり遊びスペース(そりを無料で貸し出し)

▼その他 キッチンカー・フードコーナー出店者、デリバリー協力店は、スポネット弘前Instagram(QRコード)で確認できます。



▼注意事項 飲食は決められたスペースのみで行い、食歩きはご遠慮ください/ドーム内に暖房を設置しますが、十分に暖かい服装でお越しください。

■問い合わせ先 スポネット弘前(☎32-6523) / 都市計画課(☎34-3219)

入場無料

市民協働 交流まつり

市民参画センターに登録している市民活動団体やボランティア団体等の活動を紹介します。さまざまな団体と交流を楽しむこともできます。

- ▼とき 2月23日(木・祝)
午前10時30分～午後2時30分
- ▼ところ ヒロロ(駅前町)…3階ヒロロスクエア=展示・体験・販売・学生コーナー/4階市民文化交流館ホール=発表
- ▼内容 活動紹介の展示、ステージ発表、バルーンアートなどの体験、パン・焼き菓子などの販売

■問い合わせ先 市民参画センター(☎31-2500)



同時開催

協働まちづくりフォーラム

テーマ

情報ツールの使い方講座

～どうすれば活動の発信をうまくできるか～

まちづくりや市民活動を行うときに、SNSなどの情報ツールを使って活動の周知やイベントの告知をする機会が増えています。そんな時に役立つ、各ツールの強みや特徴、効果的な発信のコツなどについて学んでみませんか。

- ▼とき 2月23日(木・祝)
午後1時30分～2時30分
- ▼ところ ヒロロ(駅前町)4階市民文化交流館ホール
- ▼講師 対馬慎太郎さん(岩木地区地域おこし協力隊/WebやIT分野の技術を生かした企画・活動を行っているほか、風景写真家としても活動)
- ▼定員 30人程度(先着順)
- ▼参加料 無料(事前の申し込みが必要)
- ▼申込期限 2月14日(火)

■問い合わせ・申込先 市民協働課(☎40-7108、ファクス35-7956、Eメールshiminkyoudou@city.hirosaki.lg.jp)

